

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公表番号】特表2017-513494(P2017-513494A)

【公表日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-563801(P2016-563801)

【国際特許分類】

A 0 1 K 61/90 (2017.01)

A 0 1 K 61/17 (2017.01)

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 61/00 D

A 0 1 K 61/00 C

C 1 2 M 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月18日(2018.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水生動物の選択された性の幼生の生成を促進する方法において、
水生動物の複数の幼生をある体積の水中に提供するステップと、
前記複数の幼生に、所定の波長範囲内に実質的に集中するスペクトルを有する光を照射して、卵内の前記選択された性の生成を促進するステップと
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法において、前記所定の範囲は 440 ~ 460 nmであることを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の方法において、雄の幼生の生成が促進されることを特徴とする方法。

【請求項 4】

孵卵器において、
ある体積の水を保持するための内部空間を形成する隣接壁を有するタンクと、
前記内部空間内で、実質的に集中する所定のスペクトルを有する光を、所定の照明強度で且つ所定のスケジュールに従って発し、前記体積の水中の幼生に前記所定のスペクトルを有する前記光を照射して、前記幼生の選択された性の生成を促進するように位置付けられた照明装置と
を含むことを特徴とする孵卵器。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の孵卵器において、前記照明装置は、前記隣接壁と係合して、照明要素を本体内で水と離間された関係に保持する大きさ及び形状であることを特徴とする孵卵器。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の孵卵器において、前記照明装置は、前記照明要素が水に曝されるのを

防止する透明カバーを有することを特徴とする孵卵器。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の方法において、前記幼生はテレピア幼生であることを特徴とする方法。

【請求項 8】

請求項 4 乃至 6 のいずれかに記載の孵卵器において、440 nm ~ 460 nm の所定のスペクトルが、雄の幼生を増産するのに用いられることを特徴とする孵卵器。

【請求項 9】

請求項 4 乃至 6 のいずれかに記載の孵卵器において、前記幼生はテレピア幼生であることを特徴とする孵卵器。